

令和6年度全建賞 推 薦 調 書
インフラ整備の事業又は施策の部(インフラの部)

ふ り が な	にぎわいそうぞうかつせいかしせつせいびじょう (たておかこうこうあとちりかつようしせつかいしゅうじょう)
1. 事業(施策)の名称	にぎわい創造活性化施設整備事業(楯岡高校跡地利活用施設改修事業)
2. 事業(施策)実施期間(和暦)	令和元年 11 月 5 日 ~ 令和 4 年 12 月 26 日
3. 事業費(工事費)	996 百万円
4. キーワード	つながる にぎわう Link MURAYAMA
5. 事業概要	
本事業は、平成 28 年 3 月をもって廃校となった山形県立楯岡高等学校跡地施設を、中心市街地の再生と経済効果を生み出す新たな拠点施設として蘇らせることを目的に取り組んだ、既存施設の改修事業である。	

6. アピールする事業又は施策の「手段」と「秀でた成果」		
ハード or ソフトの分類 :該当する方に○印	① ハード面 に秀でた事業	② ソフト面 に秀でた取組
アピールする 1)「手段」	(a) 事業連携 (c) 既往技術の創意工夫、活用 () ()	(b) 行政と住民・企業・学識経験者との協働 (c) 情報発信(新聞、広報誌、インターネット) (d) イベントの開催(マルシェ、講習会 他) ()
アピールする 2)「秀でた成果」	(a) 当該事業による本来目的の効果 (e) 良好な景観形成の実現 (f) 地域の活性化(にぎわいの創出、地域振興) ()	(a) 当該事業による本来目的の効果 (e) 良好な景観形成の実現 (f) 地域の活性化(にぎわいの創出、地域振興) ()

7. 特にアピールしたい点
「旧楯岡高校跡地利活用検討市民会議」及び「利活用ワーキングチーム」を立ち上げ、産学官一体となり施設利活用の全体方針や、導入する機能と配置、運営方針等を議論し計画を進めてきた。 各種改修工事を経て、令和 4 年 7 月、廃校施設は新たに『Link MURAYAMA(リンクムラヤマ)』としてオープンした。 主な機能として、コミュニティ機能(オープンスペース、カフェ)、コワーキング機能(コワーキングスペース)、オフィス機能(オフィス)、フィットネス機能(フィットネス、更衣室)、宿泊機能(ゲストハウス、シャワー室)を有し、現在 20 事業者が入居し、50 名以上の働き手があり満室となっている。 オープンから 2 年 8 ヶ月が経過した昨年、来館者数は 20 万人を突破し子どもから大人までさまざまな人が集う複合型交流施設として、市の中心市街地の活性化に大きく寄与している。

8. 事業を代表する写真及びキャプション



【施設の外観(北側)】

かつての高等学校の風情が残る外観に、キーカラーとなるオレンジ・緑を配色し、新施設としての印象を変化させた。



【施設の外観(南側)】

南側は防災広場を整備し、管理棟と体育館を結ぶコリドー(連絡回廊)と共に、施設全体の一体性と利便性を高めた。



【コリドー(連絡回廊)】

吹きさらしのコリドーから、防災広場を眺める。人の立体的な動線と視線の交錯が、より施設の活性化を促進する。



【施設の内部】

かつての職員室だったスペースは、新たに『リビング』となり来訪者を迎える。子供から大人まで自由に歓談できる空間。



【屋内でのイベント】

かつての校舎の風情が残るリビングでは、各種イベントや、講習会、懇親会等が催され、多目的に利用されている。



【屋外でのイベント】

北側の駐車場や南側の広場では、季節を問わず様々なイベントが催され、中心市街地にぎわいを創出している。

9. 事業内容・添付資料〔特徴を示す写真、諸元(位置図、標準断面図、施策のフローチャート、P Iの方法 等)〕

村山市にぎわい創造活性化施設「Link MURAYAMA」



■ 敷地概要

計画地 山形県村山市榑岡荒町二丁目1番1号
敷地面積 37,057.621㎡
都市計画区域 市街地区域
用途地域 第2種住居地域
地区計画 なし
防火指定 法22条区域
法定建蔽率 10.8%/60%
法定容積率 17.4%/200%
接道 県道 幅員11m、接道長さ107.69m
市道 幅員8m、接道長さ264.89m

■ 建築概要

建築用途 事務所、ホテル・旅館、飲食店、学校
フィットネスクラブ
消防用途 複合防火対象物(16項イ)事務所(15項)
飲食店(3項ロ)、ホテル・旅館(5項イ)
集会場(1項ロ)、フィットネスクラブ(15項)
建築面積 4,305.61㎡(うち改修部分は3,484.71㎡)
延床面積 6,594.18㎡(うち改修部分は5,714.00㎡)
最高高さ 申請に係る部分12.8m その他19.57m
階数 最大3階建て
構造 RC造、S造

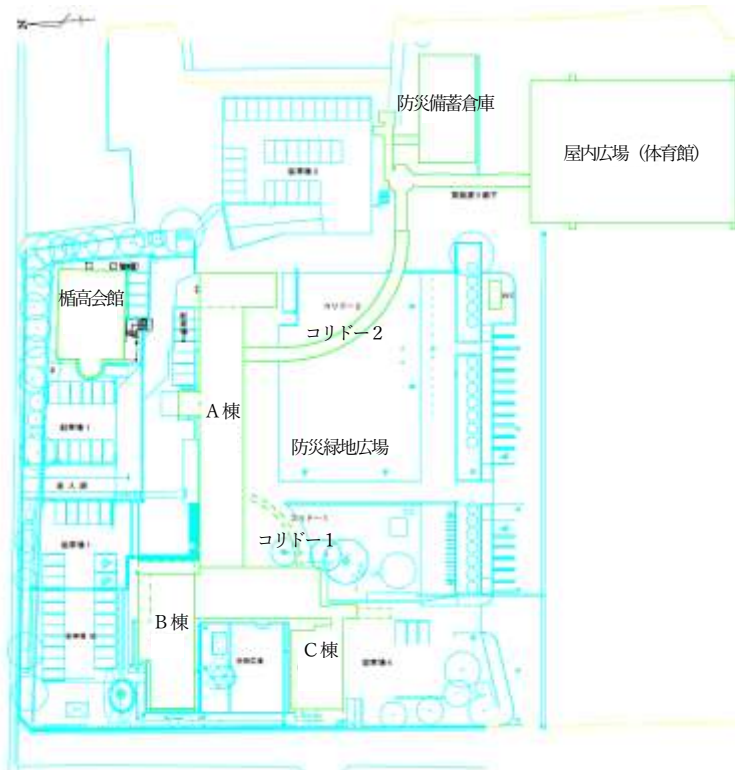
「オープン性」「コミュニティ性」多様な利用者が集い、にぎわいの創出と経済効果を生む拠点

＜導入される機能＞

- ①コミュニティ機能 ②コワーキング機能 ③オフィス機能
④ゲストハウス機能 ⑤フィットネス機能 ⑥子どもの遊び場・スポーツ機能

＜入居をしている事業者＞

飲食店、設計事務所、デザイン事務所、コールセンター、イベント企画、IT関連
リラクゼーションマッサージ、芸能プロダクション、コンサルタントなど



■ 主要要素工事

- 工事名 : 旧榑岡高校不要校舎等解体工事
工 期 : 令和2年10月6日～令和3年3月22日
事業費 : 73,951,900円
- 工事名 : にぎわい創造活性化施設改修建築主体工事
工 期 : 令和3年6月28日～令和4年3月14日
事業費 : 200,769,800円
- 工事名 : にぎわい創造活性化施設改修電気設備工事
工 期 : 令和3年5月13日～令和4年3月14日
事業費 : 149,257,900円
- 工事名 : にぎわい創造活性化施設改修機械設備工事
工 期 : 令和3年5月13日～令和4年3月14日
事業費 : 52,800,000円
- 工事名 : メディカルフィットネス施設改修工事
工 期 : 令和3年10月22日～令和4年3月14日
事業費 : 39,530,700円
- 工事名 : 都市構造再編集中支援事業 緑地広場整備工事
工 期 : 令和4年5月13日～令和4年12月14日
事業費 : 136,055,700円
- 工事名 : 都市構造再編集中支援事業 緑地広場整備工事(第2期)
工 期 : 令和5年5月1日～令和5年9月29日
事業費 : 36,902,800円

他、13工事 24業務委託